



林 利江

有限会社ベアーズ代表取締役

仲間がいて、豊かな自然の恵みさえあれば
健康で幸せに生きていける。

はやし・としえ ● 1964 (昭和39) 年9月21日生まれ。木更津市出身。卸の酒屋に生まれ、専門学校でコンピューターを学んだ後、京都の割烹勤務を経て家業へ。店名の「ベアーズ」は、クマのぬいぐるみが好きだったことから。昨年つくった梅酒は、全国梅酒品評会の銀賞を受賞。「楽しまない面白くない」をモットーに、さまざまなイベントの企画、運営に携わっている。

借金返済のための仕事から
みんなの健康のため、
地域のために働き始める。

京都の割烹で修行していた私
が実家に戻ったのは、26歳のこ
ろ。体調を崩した父に代わって
家業の酒屋で働き始めました。
とにかく大変でした。

古参の従業員は言うことを聞
いてくれない。来る日も来る日
もケースを運ぶうちに、椎間板
ヘルニアになる。しかも、ウチに
は5億円もの借金があることが
わかってくる……。気が滅入っ
て自律神経失調症になりました。
当時の私は、借金返済だけを
目的に働いていましたが、知人
に「働く本来の目的は違うでし
よ」と言われ、働く意味を考え
るようになりました。

お酒を扱うウチの店には、酒
好きの常連さんがたくさん訪れ
ます。しかしやがて、彼らの多
くは足が遠のいていく。身体を
壊して、医者にお酒を止められ
るからです。

ただそうはいっても、飲んで
も病気になる人もいます。
お酒を飲んで病気になる人とな
らない人の違いを調べると、食



全国梅酒品評会で銀賞を受賞した梅酒をはじめブルーベリーなどのリキュール

べものが違うことが一因だとわかってきました。私たちのまわりには、添加物をはじめとして身体に悪いものだらけなんです。それなら今後は、身体にいい食べものを提案していこう。同時に、店を地域に愛されるコミュニティにしていこう。そう考えたところから、流れは徐々に変わり始めました。

**伝統の食文化を通じて
未来ある子どもの健康を
守っていききたい。**

私はいま、日本伝統の食文化

を伝え、未来ある子どもの健康を守りたいという思いで、さまざまな活動を行っています。

例えば「ベアーズ」では自然食品を扱うだけでなく、常連さんたちが参加しての味噌づくりや醤油しほりを定期的に行っています。こうした活動を広げようと、店外でのイベントもやり始めました。

そのひとつが「かずさファーマーズマーケット」です。木更津市周辺の無農薬野菜の生産者に声をかけ、コンサートなども行いながら、月1回、イベントを開催しました。このマーケットを通じて多くの人が健康のための食品を求めていることがわかり、大きな励みになりました。2014(平成26)年には、ファーマーズマーケットの集大成として「グローバルハピネス」というイベントを始めました。このイベントの目的は、未来の子どもたちのためにできること。味噌づくりや醤油しほりに、竹の飯盒(はんごう)でお米を炊くという経験もしてもらいました。会場には、竹のジャングルジムもつくりましたが、これにも子どもたちは大喜びでした。

そうした中で2016(平成28)年、木更津市が「オーガニックなまちづくり条例」を施行します。これは人と自然が調和した、持続可能なまちづくりを推進するもの。これを機に、市と一緒にイベントを行うようになりました。今では、木更津市と一緒に無添加食材を使用した木更津ナチュラルバルを月1回、木更津駅前で行っています。

**昨年つくった梅酒が銀賞に。
軌道に乗れば地域活性化も。**

最近、新しく始めたのは本来の作業に立ち返ったのりキュールづくり。リキュール免許を取って昨年つくった梅酒が、全国梅酒品評会で銀賞に輝きました。梅酒だけでなく、ブルーベリーやイチゴ、レモンなどのお酒もつくっています。

梅酒に使うのはウチの近所にたくさん実って、だれも見向きもしない梅の実。これをお米の甘さを最大限に引き出したライスリカーに漬けるので、砂糖なしでも甘みが出る。身体にいいことはもちろん、これを軌道に乗せれば地域活性化につながるかもしれません。リキュールづ



店舗の看板には店名の由来となった、林さんが好きなクマが描かれている

くりと並行して、耕作放棄地を利用したブルーベリー栽培も行っていきます。振り返るとかつての私は、お金に縛られていました。頭にあるのは借金返済のことばかり。お金に支配された人生を生きていました。いまは違います。「ベアーズ」やイベントを通じてできたたくさん仲間がいて、身体にいい食べものを自分たちでつくることができる。お金がなくても大丈夫。仲間がいて、豊かな自然の恵みさえあれば、人間は健康で幸せに生きていける。そうした考えを、もっともっと広げていきたいです。

MANAGEMENT SQUARE

2020-NO.361
マネジメントスクエア

3

■まちづくり発達史

往時の賑わいが戻り始めた日本の中心地。
「日本橋再生計画」は新たなステージへ
中央区日本橋地域

■会社を強くする！ 実践経営塾

集客・販売に「動画」を積極活用